

修学旅行新聞

3-3 矢部

日程 (見学した場所)

一日目

11:50 法隆寺

14:10 東大寺(奈良公園)

16:20 平等院

二日目

9:00 北野天満宮

9:40 金閣寺

10:20 龍安寺

11:10 銀閣寺

12:00 祇園

14:00 京都タワー 京都駅

三日目

8:40 清水寺

10:50 三十三間堂



法隆寺 ☆

日本最初の世界文化遺産。飛鳥時代の姿を現代に伝える世界最古の木造建築として広く知られている。聖徳太子が建立された寺院です。法隆寺は塔、金堂を中心とする西院伽藍と、夢殿を中心とした東院伽藍に分けられています。広さは約六七〇〇平方メートルです。飛鳥時代の始めとする各時代の様を集めた建築物が軒をたがわたくさんの宝物類が伝来しています。国宝、重要文化財に指定されたものだけで約百九十件、点数にして三〇〇余点に及んでいます。

平等院 ☆

永承七年(一〇五二)関白藤原頼通によって父道長の別荘を寺院に改め創建されました。その翌年の天喜元年(一〇五三)に阿弥陀如来を安置する阿弥陀堂が建立され、その建物が現在鳳凰堂と呼ばれています。経典に描かれている浄土の宮殿をイメージした、優美で軽快な建物です。

金閣寺 ☆

正しくは「鹿苑寺」と言い臨濟宗相国寺派の禪寺です。金閣寺の二層と三層は漆の上から純金の箔が貼ってあり、屋根は極の薄い板を何枚も重ねたこけら葺で、上には鳳凰が運んでいます。一層は寝殿造で法水院、二層は武家造で潮音洞と下ばれています。三層は中国風の禅宗仏殿造で宝意頂とよばれ、三つの様式を見事に調和させた室町時代の代表的な建物です。



写真で見るとも、実物はとてもキレイでした。

三十三間堂 ☆

国宝三十三間堂は、正しくは蓮華王院という千手観音信仰の道場です。三十三間堂の名の由来は南北に百二十五メートルもある長大な御堂内の柱の間数が三十三あることにちなんでいます。千体千手観音像 ☆ 七十人余りの造仏師が一体一体心をこめて作りあげた芸術性の高い仏像です。どれもほぼ人間の高さぐらいで百六十五から百六十七センチ。この千体のお顔にふとなつかしい人のおおかげを見い出すかもしれませぬ。風神雷神 ☆ 鎌倉彫刻代表の力作。伝説や教義から生まれた空想の神が今も動き出しをうな勢いで観音菩薩を守っています。たこさんの観音像を見ることかでき、でも秋にはほとんど同じ顔に見えるました。

龍安寺 ☆

中にある石庭は、東西二十五メートル、南北十メートルの空間に白砂を敷き結んだ十五個の石を配したものです。極端なまでに象徴化されたこの石庭の意味は謎に包まれており、見る人の自由な解釈に委ねられています。縁が多くとも落つきのある所でした。



- ◎武蔵
- ・矢部
- ・森戸
- ・毛塚
- ・三浦
- ・布川
- ・牧野
- ・森戸
- ・中村

感想

柿木では味わえないものかたさもあり、回った所一つ一つが、とても感じました。祇園で食べた抹茶は、おいしかったです。